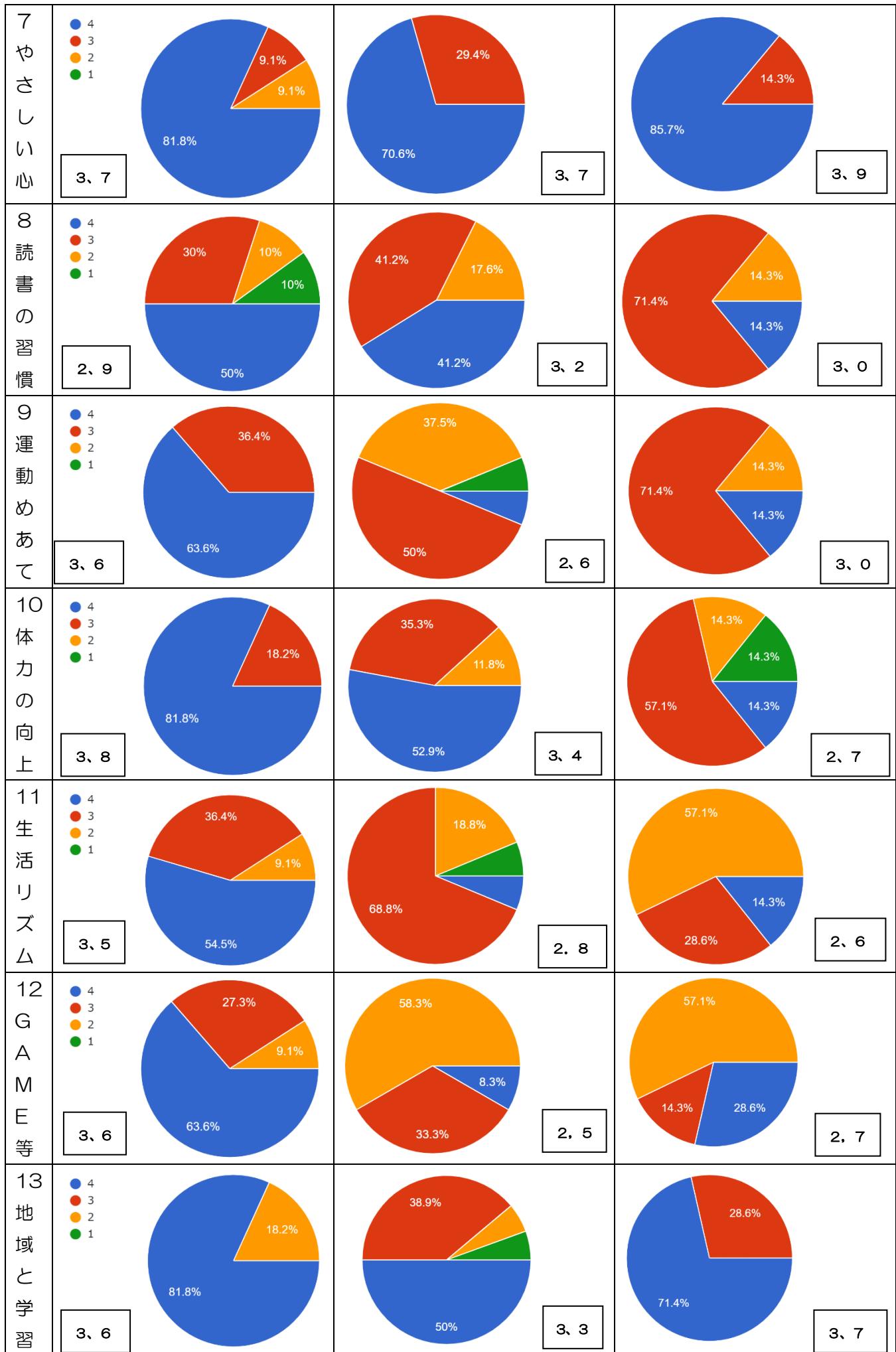
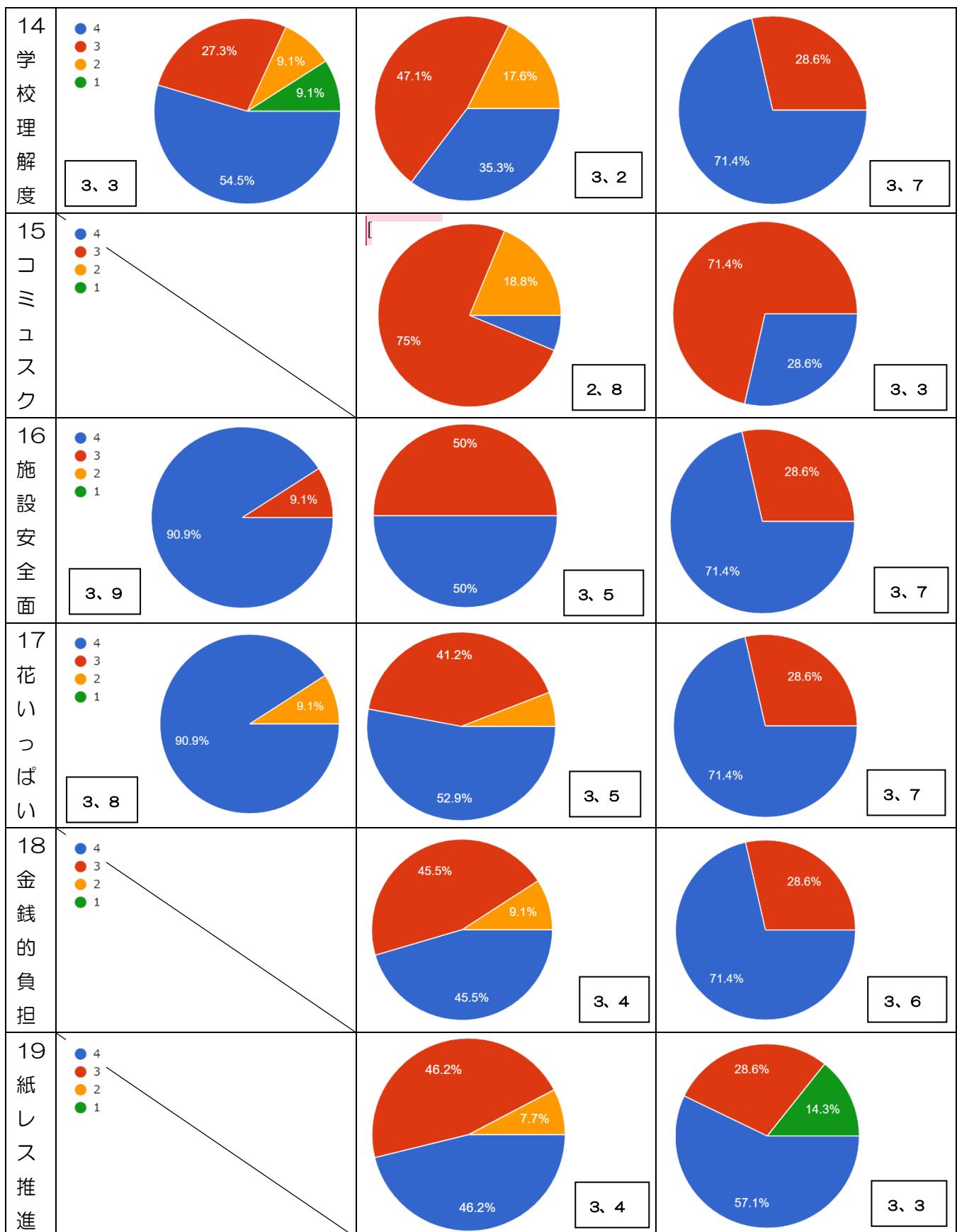


R4学校評価アンケート結果集計

	児童(3年生以上)	保護者・地域	教職員
1 自 主 的 の 学 習	<p>平均 3、6</p>	<p>3、1</p>	<p>2、7</p>
2 成 功 で 自 信	<p>3、4</p>	<p>2、9</p>	<p>2、9</p>
3 自 己 表 現 力	<p>3、5</p>	<p>3、2</p>	<p>2、4</p>
4 学 習 の 習 慣 慣	<p>3、6</p>	<p>2、9</p>	<p>2、4</p>
5 学 び で 自 信	<p>3、2</p>	<p>3、3</p>	<p>2、9</p>
6 体 験 的 の 活 動	<p>3、7</p>	<p>3、4</p>	<p>3、6</p>





【ご意見等】

- ペーパーレスは必要な時代ではあるが、内容によっては、紙の文章が良い時もある。メールが来ていた事を忘れるたり、中学校や職場の行事と照らし合わせる時に、いちいちそのサイトに入らないといけないと、不便に思う時があるから。
- 楽しくやっています。
- 新しい校舎が使いやすいです。

- もっとよい学校にするためには、みんなけんかなどをしないことや、みんなで忘れていることを声掛けをするとよい。

【結果の考察】

1 評価の高いものと低いもの

- 評価の高いもの（上位項目）

保護者・地域	①やさしい心(3.7) ②施設の安全(3.5) ③花いっぱい(3.5)
児童	①やさしい心(3.7) ②花いっぱい(3.6) ③体力向上・施設安全(3.5)
教職員	①やさしい心(3.9) ②花いっぱい(3.7) ③施設安全 3.7

- 評価の低いもの（ワースト項目）

保護者・地域	①ゲームやネット(2.5) ②運動のめあて(2.6) ③生活リズム(2.8)
児童	①ゲームやネット(2.8) ②読書週間(2.9) ③学習によって自信(3.1)
教職員	①表現力(2.4) ②学習習慣(2.4) ③生活リズム(2.6)

2 全体の考察

- 評価結果は、教職員が厳しく、児童は甘い評価になっている傾向にある。（保護者はその中間）児童は経験が足りないことや、比較対象がないこと、メタ認知（自分自身を客観的に理解すること）ができていないことがその理由だと考えられる。
- やさしさについては、三者とも評価が高い。よさを共有し、継続していくために、「なぜ、名水の子どもたちがやさしいのか。」、考える手立てをとる必要がある。
- 生活リズムや、ゲーム・インターネットについては三者とも評価が低く、危機意識が高い。児童や保護者が現状を把握できるようにし、家庭と連携した指導が必要である。
- 共通認識できているものについては、「なぜそれができているのか。」を考え、よさとして認め合えるようにする。また、意識に違いがあるものについては、児童や保護者に児童や学校の情報を確実に伝え、3者の共通理解を図る機会をつくり現状認識ができるようにする。

3 分野ごとの考察（○成果 ●課題）

(1) 自立貢献について

【考察】

- 一人一人それぞれの児童に応じて、それぞれできることが増え、学ぶ意欲を高めながら、学習に集中して取り組もうとする児童が多い。
- 学習意欲の高まりと同様に、聞いて話すこと、読んだり書いたりして話すことへの抵抗が小さくなってきた児童も見られている。
- 相手の話や聞いたことに対して、相手の気持ちをくみ取りながら理解しようとする姿が見られ、楽しく対話し問題解決を図ろうとする姿が見られる。
- 物事を正確に言葉で考える・伝える（学年に応じて）までには、到達していない児童が多い。
- 見過ごしがちな些細な気付きや違和感を表出し、その根拠について追究しようとする意欲の向上が望まれる。
- 年間のほとんど、病気やケガでの欠席が非常に少なく、元気に登校し、満足したようにこやかな表情で下校する児童の姿が多く見られる。
- 日常のコミュニケーションの中で、周りが安心できるように、また、周りのためになるように、

周りの状況に応じた自分の考えを伝えようとする児童が増えている。

- 実施された体験活動が、「楽しかった。」「びっくりした。」という感想だけで終わるのではなく、目的意識及び相手意識をもとにした感想(ふり返り)になるような指導に工夫が必要である。

【手立て】

- ・ 今後、必要な語彙の習得及び対話の機会を繰り返しながら増やしていくことが必要である。このことは、対話的な学び実現につながる。
- ・ 「楽しかった。」「うれしかった。」というような情意的な自己評価から、「〇〇をとおして、□□のことが分かった。」「〇〇を使ったら、□□できた。」というような 自分の成長が感じられる自己評価への移行が段階的に必要である。さらには、「今後、△△していきたい。」というような次への活動に発展させるような自己評価が望まれる。また、そのような自己評価になる学習指導過程の創造が必要である。
- ・ 様々な活動場所で、その目的を明確にし、いろいろな人・もの・こととの出会いを意図的に繰り返し繰り返し仕組むことが必要である。その活動で、自分の存在感や所属感、有用感などの自己肯定感を高めるようにすることが必要である。そのため、体験的な活動はとても効果的な活動である。

(1) 学習面について

【考 察】

- 学習したことにより自信をもつことができないと感じる児童が多いため、自己有用感や自己存在感につながっていると感じる。
- 学習習慣が身に付いていると感じる児童が多いが、保護者や教師はあまり身に付いていないと感じている。家庭学習等のやり方の検討が再度必要。(各学年に応じて)
- 話し合い活動など、自分の考えを表現する力を向上させる手立てが必要。

【手立て】

- ・ 教師がより児童の学習意欲を高め、「できた！」と感じる学習を展開する。
- ・ 家庭学習応援週間を再度設定し、保護者と学校が一体となって家庭学習に関与する取り組みを行う。
- ・ 放課後子ども教室サポーターから放課後子ども教室での学習の様子などを聞き、連携して指導を行う。
- ・ 対話や話し合い活動、発表の仕方等、児童が自分の考えを自分の言葉で表現する活動を積極的に設ける。
- ・ 対話中心の学習活動を単元計画の中に位置付け、意識して指導を行う。

(2) 生活面について

【考 察】

- 地域の素材に目を向けた体験活動を、積極的に学習へと取り入れることで、地域を愛する児童が育っている。
- 小規模校の特色を生かして、複式、または全校で学習やその他の活動をすることが、児童同士の思いやりを育んできていると感じる。
- 読書環境は整っているが、外遊びやゲーム等で時間を費やし、読書時間、読書習慣においては児童によって数値の開きがある。

【手立て】

- ・ 教師も地域の素材（自然・人・歴史など）に進んで関り、地域を知り児童とともに学ぶ。
- ・ 地域のボランティア活動に参加できる場を、教育課程の中に位置付ける。
- ・ 地域の活動（清掃・避難訓練・祭り等）に、もっと参加できるよう保護者にも協力を求める。
- ・ 学校教育の中では、褒める・認める声かけを重視する。（その場で褒める・みんなの前で認める）
- ・ 隙間の時間に読書をするという習慣を醸成する。（テストが終わった後、雨の日、何かの作業や活動が終わった後など）
- ・ 読書月間だけでなく日頃から「おすすめの本」を教師が児童に、児童同士ができるようにしていく。

（3） 健康体育面

【考 察】

- 体育科学習では、個人やグループごとの課題をもとに「めあて」を設定し、振り返りの時間を大事にしてきた。そのため、児童の評価が高くなっている。
- 保護者も児童も実感が伴っているためか、体力向上の数値が高い。しかし、体力テストの結果は決して高いとはいえない。
- 児童のめあてや振り返りに関しては、保護者の評定が低い。その理由は、実感があまり伴わないからではないかと考える。

【手立て】

- ・ 学級通信等で「めあて」の大切さを数回に分けて話したり、行事等で提示し、その都度評価したりしてする。
- ・ 体力テストの結果を受け、2学期、3学期にも各自の課題に応じた目標を児童が設定する機会を設ける。また、教師の継続的な評価が必要である。

（4） 地域連携

【考 察】

- 地域との体験活動については、評価が高い。地域を活用した学習を生活・総合的な学習の時間の年間指導計画に組み込み、各教科と関連させながら学習を進めていることの成果である。
- 全体的にコミュニティ・スクールへの認知度が低い。初年度であることや、コロナ禍で行事が少ないと地域の活動が制限されていることが理由だと考えられる。
- 学校は情報を伝えていると評価しているが、家庭・地域にはまだ十分伝わっているとは言えない。

【手立て】

- ・ 今後、できるだけ学校に地域の方を呼びながらコミュニティ・スクールについて、丁寧に説明していく。
- ・ 年度当初の学校運営協議会、ふれあいネットワーク会議で学校経営方針をもとにした、本校ならではの総合的な学習の時間の学習の進め方や、年間計画についての説明・協議を行う。
- ・ 情報をより正確に伝えるために、HP やメールシステムを更に活用する。地域の方へ区長さんからマチコミメールに参加していただけるよう協力をお願いする。また、家庭で日々の学校の様子を話題にしてもらえるようにする。

（5） 事務・総務

【考 察】

- 技術員の日々のはたらきで非常に環境が整っている。
- 今年度、校舎改修があり、安心・安全な学校環境となった。
- 会計関係については、パーフェクトな評価であった。正確で迅速・確実な対応で保護者からの信頼度が高い。
- 今年度は校舎改修で、PTA と職員で引っ越し作業を 2 回行った。児童だけでは大変だったと思う。その都度、顔を合わせて様々な情報交換もできてよかった。

【手立て】

- ・ 運動場整備はかなりの労働である。草集めなど、児童もできることがあれば協力していく。
- ・ 今後も集金計画が滞ることがないよう協力を呼び掛けていく。
- ・ ペーパーレスについては少しずつ浸透している。HP やマチコミメール等を活用しながら適宜活用していく。